

自治前 渡島地方本部ニュース

【発行】

自治労渡島地方本部
 執行委員長 川村 哲也
 〒041-0806
 函館市美原 4-6-16
 TEL 0138-34-2357
 FAX 0138-34-2358

渡島総合振興局長交渉を実施！ 交付税削減問題・北海道も反対に理解

3月6日（水）、渡島総合振興局にて、自治労渡島地方本部は、自治体労働者の賃金・労働条件に関する重点項目について渡島総合振興局長との団体交渉を行った。

団体交渉は、2点に絞り行つた。国公の給与削減の地方への波及について、地方6団体も反対をしているため北海道としても国に異議を申立ててほしいとの要求に対して、北海道は、総務省で2月に行われた会議での具体的な国の動きについて、説明を行い、管内の首長や議員への説明を行った際に



渡島総合振興局長との交渉

も、国の交付税削減のやり方について怒りの声が多かったと今回の政策の問題について理解を示していた。管内市町の再任用制度の運用化に向けて指導力を発揮してほしいとの要求については、北海道としても、管内の状況については、把握をしている。各市町において、それぞれ懸念事項があるが、運用化に向けて必要な情報や助言を行うとの回答を得た。

最後に川村委員長より、北海道の14年間の独自削減は、国の政策のツケが地方に波及している状況であり、交付税の削減は地域の疲弊に繋がる。樋口副委員長より、交付税の削減問題や再任用の運用化に向けて、北海道の果たす役割が大きい、各自治体に向けて情報発信を要請し、交渉を終えた。

地公三者共闘会議春闘総決起集会 たたかう意思統一をはかる！

3月8日（金）、七飯町大中山コモンにて、地公三者共闘会議2013春闘総決起集会を開催した。

冒頭、主催者として樋口委員長より今春闘をめぐる情勢を含めた挨拶を行った。



全道庁渡島樋口委員長 挨拶

道本部藤盛副委員長より道本部提起として国公の給与削減等についての情勢報告を受けた。ここ十年間労働者の賃金は下がり続けている。大企業は、下請け単価を下げる中で内部留保を増やし、中小企業は、その恩恵を受けていない。デフレ脱却に



道本部藤盛副委員長 提起

には、賃金水準の引き上げが必要である。国公の給与削減は、交付税の削減を地方債に置き換えており、アメと鞭による地方の財政の自主性を剥奪しようとしている。

今後の取り組みを強化していかなければならないとした。



北教組渡島 松本書記長

その後、管内における今春闘

渡島地方本部は、2012年2月10日の執行委員会・単組代表者会議で比例区『あいはらくみこ』、2013年2月15日の執行委員会・単組代表者会議で北海道選挙区「小川勝也」を推薦決定しています。

期の取り組み状況の報告をした。

北教組においては、児童に
対して、きめ細やかな指導を
行うためにも、30人以下の
学級を目指す取り組みにつ
いて報告を受けた。また、査
定昇給制度については、様々
な職種や職務内容があるに
も関わらず、一律に査定を行
っている実態が報告された。



函館病院労組 小松書記長

在函ブロックを代表して
函病小松書記長より函館市
労連の確定闘争期からの、こ
の間の給与の独自削減、退職
手当の削減のたたかいかにつ
いての報告があった。
本選ブロックを代表して、
森町職労の若狭書記長より



森町職労 若狭書記長

長万部町職労においては、
新年度においても独自削減
が継続、八雲町職労におい
ては、再任用制度について条
例化は、再任用制度について
に向けて協議を継続、森町職
労においては、地域給導入時
の昇給抑制の回復すること
について報告された。



鹿部町職労 木村委員長

盆地ブロックを代表して
鹿部町職労の木村委員長よ
り、七飯町労連においては、

当局の提案について、職場オ
ルグを実施、北斗市職労にお
いても、当局提案について事
務交渉、鹿部町職労では今後
職場オルグを実施等につい
て報告された。



知内町職 帰山執行委員

松前線ブロックを代表し
て帰山執行委員より、松前町
職では、政策事業は、財政悪
化を阻止するため労使一体
で進める、福島町職労では、
国公給与削減は独自削減の
実績を考慮すべきと当局へ
申し入れ、木古内町労連で
は、国公給与削減は行わない
ことを団交で確認、知内町職
においては、懸案事項であつ
た91人勸を新年度において
適用すると報告された。



北教組函館 相澤支部長

決意宣言案を全体で確認
した後、北教組相澤支部長の
今春闘期に向けて、地公三者
が一致団結し、このたたかい
に勝利することを確認し、力
づよい団結ガンバローで集
会を終了した。
今集会には、全水道、都市
交労組からも多くの組合員
の方の参加をしていただき
ました。

**安易な妥結はしない！
統一行動を**

3月8日（金）、七飯町大
山コモンにて、集会終了後、執
行委員会・単組総支部代表者会
議を開催した。
道本部藤盛副委員長より、

3月5日の道本部拡大闘争委
員会で確認された地方公務員
の給与削減反対のたたかいか
について提起が行われた。
地方6団体も反対を表明し
ている地公給与削減は、地方の
自主性を奪う行為であり、今踏
み止まらせなければ、この流れ
は様々な政策を通じて国民に
多くの負担を強いらせる動き
となる。自治労が結集し、全国
で統一して反対していくこと
が必要である。安易な妥結は、
全国のたたかいに影響を与え
るため統一行動を行うこと。
最後に、今回提起した取り組
みについて、しっかりとやり抜く
ことを全体で確認した。

地本の動き（春闘期の戦術）

- 3月 14日まで 重点交渉期間
- 15日まで 腕章着用
- 15日 29分時間外職場集会